

SS 研教育環境フォーラム 2018

「学習者と教授者を支える教育環境 -アクティブラーニングの光と影-」

～ SS 研会員に限らず、どなたでもご参加いただけます ～

- 日時 : 2018 年 9 月 3 日 (月) 10:30~16:35 (受付 10:00~)
- 場所 : 富士通株式会社 本社 6 階 プレゼンテーションルーム [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

ICT を活用した大学での教育環境として、LMS の普及が進んでおり、学生 PC の BYOD 化の潮流とも合わせて、教室内外においてどのような教育学習活動を ICT で支援していくのが問われるようになってきている。また、LMS などの利用が増えれば、ネットワーク上に集約される学習記録データもそれに連れて増大する。それを活用して学習効果をあげようとするならば振り出しに戻って、ICT を活用した教育環境の設計の巧みさが重要な条件となってくるだろう。

そのような状況の中、教育環境分科会では昨年度に引き続き本年度のテーマを「学習者と教授者を支える教育環境」とし、学生と教員の双方にとって価値ある教育学習環境、またその中で展開されるであろう教育内容について取り扱っていく。

本フォーラムでは、サブテーマを「アクティブラーニングの光と影」とする。現在標準的な授業オプションの一つとみなされるアクティブラーニングの評価方法を再び見直し、より実質的な導入に繋がるような議論を行いたい。

- プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

※当日は講演概要のみを配付します。詳細資料は Web サイトからダウンロードして下さい。 -敬称略-

10:00~	受付
	[司会] 松葉 龍一 (熊本大学)
10:30~10:35	開会趣旨説明 隅谷 孝洋 (広島大学)
10:35~11:35 講演 50 分 Q&A 10 分	[1] アクティブラーニングの失敗事例 -教育現場が抱える問題とその解決に向けて- 亀倉 正彦 (名古屋商科大学) アクティブラーニング (Active Learning: AL) で大事なことは、学生が学びをする上での「主体性」「学びの深まり」「教員の環境づくり」の 3 点に要約されます。AL が上手くいかないことは、すなわちこれらのうちの一つまたは複数に不備があることを意味します。本講演では、こうした諸問題を発生させる要因を体系的に整理して示すとともに、教育現場に対して行った最新の調査結果も援用しつつ、その解決策に向けてのヒントを提示します。
11:35~13:00	休憩・立食ランチ会 (85 分) (ランチ会: 会費 ¥500)
13:00~13:30 講演 20 分 Q&A 10 分	[2] 「LA を利用した教育・学習効果の向上 WG」報告 隅谷 孝洋 (広島大学) LA を利用した教育・学習効果の向上 WG では、2 年間にわたり活動を行い、WG メンバーの所属大学を中心に、大学における教学 IR (Institutional Research) を含む Learning Analytics (LA) の取組内容を調査して参りました。その活動報告として、調査を行った事例のみならず、LA 導入の考え方、データ収集方法のカタログ化と分析方法、実施時の課題、データに基づいた教育改革の今後の展望等についてまとめた報告書を作成しましたので、今回、その要旨を報告させていただきます。
13:30~14:30 講演 50 分 Q&A 10 分	[3] PBL 型ワークショップの実践報告 長尾 徹 (千葉工業大学) 新時代のエンジニアには、工学専門領域の視点だけではなく多面的・多角的に課題を捉え、ステークホルダーと共創しながら革新的な価値を実現することが求められることになる。そのためアクティブラーニングを推進し企業・他教育機関などと実践的なデザインプロジェクト活動を行っている。ここでは PBL 型 WS とオンライン上での情報共有・振り返りを行うなど新たなデザイン教育への取り組みの実践事例を紹介する。
14:30~15:00	休憩・パネルディスカッション準備 (30 分)
15:00~16:30 90 分	[4] パネルディスカッション「アクティブラーニングの光と影」 コーディネーター: 隅谷 孝洋 (広島大学) パネリスト: 亀倉 正彦 (名古屋商科大学)、長尾 徹 (千葉工業大学)、喜多 一 (京都大学)
16:30~16:35	閉会挨拶 中西 通雄 (大阪工業大学)

(裏面に続く)

■ 会場へのアクセス

汐留シティセンターのオフィスロビーから低層階用エレベータで直接 6 階会場(User Community Salon 内プレゼンテーションルーム)へお越し下さい。1階の富士通総合受付での受付は不要です。

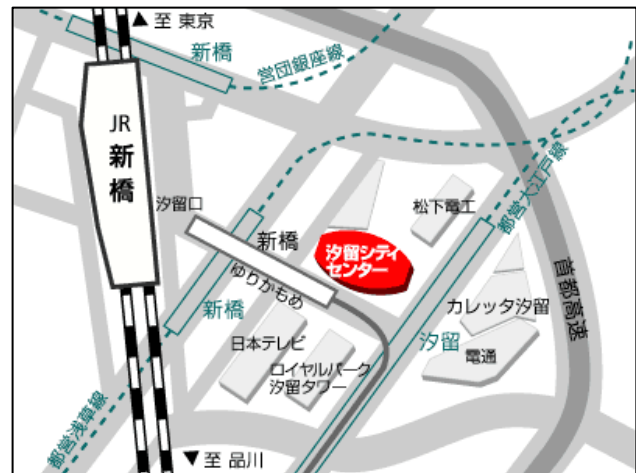
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

<<電車でのアクセス>>

- ・ JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・ 東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4 (地下1階) から徒歩3分
- ・ 都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口 (地下1階) から徒歩2分
- ・ 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- ・ 新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口 1D から徒歩1分

<<羽田空港から新橋駅までのアクセス>>

- ・ 東京モノレールと JR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約 30 分)
- ・ 京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約 30 分)



■ ご参加について

- 参加対象 : オープン開催(SS 研会員機関以外の方でも、ご参加いただけます)
- 参加費 : 無料。ただし、ランチ会(立食形式)については 会費 ¥500 を申し受けます。

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS 研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) カスタマーリレーション統括部内
TEL : 03-6252-2582(直通)

Email:office@sskn.gr.jp URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>